

上海山景 口腔門診部

診療内容

- ★口腔内科
- ★口腔外科
- ★歯列矯正
- ★口腔修復科
- ★口腔予防
- ★インプラント
- ★放射線診断

住所: 徐匯区天钥橋路333号騰飛大厦5楼503室
 電話: (021) 6426-1787
 診療時間: 10時~19時
www.diiworld.com 日本人医師が定期診察

古都 鍾療を有する屈指の按摩店

以下の症状に効果があります:
 全身疲労、肩凝り、五十肩、ギックリ腰、足底、高血圧、糖尿病、不眠、脳血管。

10年の実績と技術を誇る優良盲人マッサージ専門店

浦東エリア

古都梅

日本人経営で安心 ゆったりくつろげる空間
 明目の健康への架け橋になることをお約束します

日本風の店内、お手頃な値段 | 日本の漫画が沢山ありますよ

本店: 浦東新区東昌路565号院内 (地下鉄2号線東昌路4号出口)
 電話: 5888-8812 5888-6181
 営業時間: 10:00~翌1:00

塘橋店: 浦東新区臨沂北路210弄13号(盛族家園)
 電話: 5881-1332 5089-8147

りやすく有用な情報、たとえば、アルバイトの他にもインターンシップという選択肢があること、アルバイト代・インターンシップ費用は源泉徴収されるのか、源泉徴収がされた場合はこれを取り戻すことができるかといったものから、食事代、光熱費代、引越代金などどのように節約するかといった情報を記載した。特に巻末に掲載した節約術一覧表は、留学生にとって役に立つのではないかと考えている。

この他にも、就職活動の時期を逸したという留学生があまりにも多かつたため、就職活動の開始時期や就職活動方法、さらには、日本と中国、どちらで就職した方が良いかについて、いくつかの要素を挙げて検討した。できるだけ抽象的な情報を選び、具体的かつ実践的な情報を載せた点が特徴だと考えている。

——日中関係悪化の影響はありませんか。

日中関係の悪化に伴い、期待された販売ルートが実現しないなど、その影響は少なくない。しかも、今回の問題は05年になされた反日活動とは異なり、一過性のも

のとはいえず、潜在的な影響は長期に及ぶと考えられる。

留学関係者からは、日中関係の悪化に加えて、日本経済の低迷、地震、放射能の風評被害などから、日本語を学び、日本への留学を希望する学生が減ったという話を聞く。文部科学省は、08年に留学生30万人計画を発表したが、12年5月時点で留学生数は13万8000人余りであって全く計画に実態が追いついていない状況である。

しかし、日本には世界最高レベルの教育水準に裏打ちされた知

識と技術、道徳観があり、世界のどこでもなく、日本留学によってこそ得られる経験もあるだろうと信じている。今後も、多くの留学生に日本で学んで欲しいと思う。

——今後、どのような活動をすすめるつもりですか？

現在、主に日中間の法律関係を取り扱う事務所に所属しているため、まずはこの方面で日中関係に何かしら貢献できればと考えている。その上で、今後は留学関係に留まらず、魅力ある企画の情報発信をし、多くの方を巻き

取扱先:
 【日本】
 東方書店
<http://www.toho-shoten.co.jp/toho-web/search/detail?id=371958&bookType=ch> ほか
 【中国】
 女人旅行
<http://travelmarket.taobao.com/> ほか
 お問い合わせ:
guangyi_x@163.com

込みながら日中関係のよりよい発展につなげることができればと考えている。



『去日本留学吧! 最新日留学必携手册』(上海遠東出版社)
 (日本に留学しよう! 最新訪日留学必携ハンドブック)
 小堀光一 著/楊彦冰 翻訳

日本に留学する方法から、大学・大学院卒業後にらんだ留学生活の過ごし方、その後の就職活動に加え、奨学金紹介、アルバイトの探し方、生活費の節約方法といった留学生に欠かせない生活情報が一冊にまとまっている。

欧米と比べ充実していない日本の留学ガイドブック

——本を出そうと思ったきっかけは?

初めて中国を訪れた2009年の夏に上海市内の書店に足を運んだ際、欧米留学に関する情報が充実しているのに対して、日本留学に関する情報が、主に大学の紹介に留まるなど乏しいことに気づいた。当時は中国語を勉強しはじめたばかりで、中国で本を出そうという発想には至らなかったが、ここにニーズはあるだろうと漠然と考えていた。

その後、知り合いの中国人弁護士(弁護士)から、彼の所属する法律事務所での研修の誘いを受けたことから、当時勤務していた法律事務所を退所し、11年1月から語学留学を、11年6月から法律事務所研修を始めた。渡中の目的は、中国語と中国法の学習にあつたが、留学時、私は31歳であり留学生として若くはなかつたため、学習だけでなく何か社会の役に立つことに取り組みたいと考えていた。そこで、09年の発想がもう一度頭をもたげ、中国人留学生に本当に必要とされる情報を発信したいと考えるようになった。

——出版元はすんなり見つかったのでしょうか。

拙著出版に向けて、日本にいる中国人留学生に「日本の生活で困っていること」のアンケートをとると同時に出版元を探し始めたが、これは非常に難航した。北

充実した留学生生活を送ってほしい—— 留学生が本当に必要としている情報を一冊に

中国への語学留学を機に本を書こうと思った弁護士の小堀光一氏。その動機と伝えたい思いについて話を聞いた。

京で参加していた県人会や大学OB会を中心に日本人に、留学先の大学や法律事務所を中心に中国人に聞いて回ったが、なかなか良い答えをもらうことはできなかった。

最終的には、ほぼ原稿が出来上がった後の12年2月頃、「東日本大地震の影響で留学生が減つたため出版はしたくない」と言われた出版元を、中国人の知人に説得してもらうことで出版が実現することになった。

——留学生にはどのような情報

が必要なのでしょう。私が考える留学生にとって必要な情報は、いかに充実した留学生生活を送り、これを将来につなげるかである。アンケートをとる中で分かったのは、高い目的意識をもって留学をする学生がいる一方で、あまり目的意識をもたず「なんとなく」日本に留学し、アルバイトを中心とした生活を過ごしてしまふ留学生も少なからずいたことである。

そこで、目的意識を持った留学生生活を送らなければ自分の将来につながらないことと、より良い将来につながるための留学生生活を送るヒントを伝え、その上で、より実生活に直結しており、分か

Profile
 こぼり・こういち○2002年、中央大学法学部卒業。06年、司法試験合格。08年、弁護士登録(第二東京弁護士会)。法律事務所勤務、中央大学法学部法律学科客員講師を経て、11年より上海師範大学、清華大学に短期語学留学。そのかわら、潮明法律事務所(北京)に研修。12年弁護士法人キャスト入所。

